



こんにちは

日本共産党

よねだ

稔

米田みのるです

▷事務所 841-2777 ▷県議会控室 823-9524 ▷自宅 841-5468 高知市長浜 5183-37

県議会活動報告

2022年10月30日

No. 1082

Faxも
同じです

ケータイにもどうぞ 090-1578-8588

共産提案、修正、全会一致可決 エアコン助成等生活保護改善求める

酷暑から命と健康を守る生活保護制度の運用改善を求める意見書

生活保護制度の運用において、2018年4月以降に保護が開始された世帯については、冷房器具の購入等に要する費用の支給が認められることとなっている。しかしながら、それ以前に保護を開始した世帯については、毎月の保護費のやりくりで購入費用を賄うことが基本とされている。

気候変動の影響を受け、日本全国で夏の暑さが厳しさを増しており、例えば東京都心では、2022年の猛暑日が1875年の統計開始以来、歴代最多日数を記録している。酷暑の中、熱中症による救急搬送、死亡事例も多発している。

全国市長会は「保健福祉施策に関する提言」の中で、生活保護制度について、「冷房器具の購入等に要する費用について、すべての被保護世帯が支給対象となるよう制度を改めること」、また「生活保護受給者の健康及び最低限度の生活を維持するため、夏季の冷房器具使用に係る電気料金相当分を扶助する「夏季加算」を創設すること」を求めている。

全国市長会が言うように、酷暑の中、冷房器具の設置・活用は、健康及び最低限度の生活を維持するという日本国憲法が保障する生存権を守るものとなっており、低所得世帯等へ冷房器具の購入等を補助する自治体独自の取組も行われているところである。

よって、国におかれでは、次の事項を実現するよう要望する。

- 1 生活保護制度において、冷房器具の購入費等に要する費用を冷房器具がなく、世帯員に高齢者等の熱中症予防が必要な者がいる被保護世帯に支給可能とすること。
- 2 生活保護制度に「夏季加算」を創設すること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

よねだちゃんの
あと14日。
◎ 国民の怒り、世論
が、山際大臣辞任に追
い込みました。
さらに、大里松、憲
法改悪をくじめ、い
のうする政治前途へ。
◎ 府のアマリスが鮮
やかに、りんど。妻が、
秋味き饅もあるね」と。

日本共産党的吉良富彦・高知県議は4日、県議会で一般質問に立ち、ビキニでの核実験被災者への支援の問題などを取り上げました。

吉良氏は2015年、16年に実施したビキニ被災船員の健康相談会に30人の参加があ

った。吉良氏は2015年までの3年間で3人の相談にとどまっていた。家保英隆健康政策部長は「集合形式の相談会の再開も検討していく」と答弁。

吉良氏は2015年までの3年間で3人の相談にとどまっていた。家保英隆健康政策部長は「集合形式の相談会の再開も検討していく」と答弁。

吉良氏は2015年までの3年間で3人の相談にとどまっていた。家保英隆健康政策部長は「集合形式の相談会の再開も検討していく」と答弁。

吉良氏は高齢化が進む被災船員の調査が急務だと指摘。前知事が明言した「太平洋核被

災支援センターなどが追跡調査を継続的に実施していくような支援策」の進展をどう図るのかと質問。浜田省司知事は「関係団体へ協力依頼など、県が側面から関与することでスムーズに調査が進むものがあれば協力をしたい。県とセンター

が連携することで、被災者への支援の輪が広がることを期待してい

る」と答えました。

米軍機の低空飛行の問題で、吉良氏はオレ

ンジルートやその周辺

の市町村すべてに騒音

測定器を備えることを

求めました。浜田知事は「未設置の市町村か

ら設置の要望があった

場合には、必要性から

検討して判断してい

いく」と答えました。

細木りょうさん
宮本なおきさん
岡田まるかさんと
ともに。PP



国民の怒り、世論が山際大臣を辞任に。冷房器具設置助成、夏季チラシ創設子供も医療充実へ――